

72 みずおちかんのんちよういしせきぶつ  
水落観音町石石仏



指 定 市有形文化財 昭和53年 2 月17日  
所在地 田 口  
所有者 水落山観音院



田口丸山の水落観音は、水落山観音院といい真言宗上宮寺の末寺で、佐久三十三観音の第11番札所である。

丸山部落の県道沿い、観音院への入口を示す地点に、

従是水落山迄十八町

奉願主十三仏石燈梵杭従六町目十三仏立

という明和 8 年（1771）の石標 2 基が建っている。18町のうち 5 町目までは、町数だけ刻した石杭が建ち、6 町目から終点の18町目までは、1 町目ごとに、町数や施主を刻した石仏が建てられているのである。これが十三仏の石像である。

石杭は、1 辺15cm程の方柱で、地表面の高さ約55cm、石仏は、像高約68cmで自然石の上に祀られている。

町石は、路傍に立てた 1 町ごとに道程を記した石標で、仏名・仏像など刻したものが多く、有名なものに高野山の卒塔婆町石がある。

十三仏は、故人が無事に往生するよう、33回忌までの追善供養を表しているものである。

佐久にも13の仏・菩薩を信仰の対象として建てられている十三仏石像は、水落観音のほか 2 例ある。また石杭などの町石も数例あるが、十三仏を町石石仏として残したものは水落観音ただ一つである。当地方まれの遺品である。